

(教育施策別の主な成果、課題、今後の取組方向)

教育施策	主な成果	残された課題	今後の取組方向
<p>1「教育の原点」である家庭教育の充実と子育て支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みえ家庭教育応援プラン」に基づく市町や団体と連携した家庭教育応援の進展</li> <li>・全ての市町で妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談窓口の設置</li> <li>・不妊への支援や出産・育児サポートの進展</li> <li>・児童虐待の防止、早期発見、早期対応に向けた市長会、町村会、警察、県の連携強化</li> <li>・児童虐待相談対応へのA I活用実験実施</li> <li>・里親登録者数の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育応援のため、様々な主体と連携した、家庭や地域の実態に応じた取組の推進</li> <li>・妊娠期から子育て期まで切れ目のない母子保健・子育て支援サービスの一体的提供</li> <li>・児童虐待対応に関するアセスメントツールの検証、人材の養成、一時保護の強化等の取組の推進</li> <li>・A I活用による児童虐待対応の精度向上</li> <li>・里親委託推進、施設の小規模化、自立支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育の原点」である家庭が役割を十分に果たせるよう、妊娠・出産・子育て家庭への支援を充実するとともに、子どもの豊かな育ちを支える地域社会づくりを推進</li> <li>・就園・就学中の子どもを持つ家庭に対し、学校等と連携し、家庭・学校・地域が教育効果を高め合うよう取組を推進</li> </ul>
<p>2 人間形成の基礎を担う幼児教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「三重県保幼小の円滑な接続のための手引き」の活用の進展</li> <li>・幼児教育普及員による、主に公立幼稚園への効果的な指導方法の普及</li> <li>・野外体験保育の普及</li> <li>・施設整備や財政支援による保育士の増</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続期の指導方法の研究と成果の普及</li> <li>・質の高い幼児教育のための、市町や各施設の支援体制づくり</li> <li>・就学前における生活習慣の確立</li> <li>・野外体験保育の普及啓発と事例研究</li> <li>・保育士確保と待機児童の解消</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間形成の基礎を培えるよう、遊びや多様な体験活動等をおして、健康な心と体、自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、社会と関わる意識、思考力の芽生え、生命を尊重する気持ち、数量・文字等への関心、言葉で伝え合う力、豊かな感性などの育成</li> </ul>

教育施策	主な成果	残された課題	今後の取組方向
3 夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容の理解と定着の確認、指導用資料の提供、少人数指導の実践研究の進展</li> <li>・海外留学する高校生の増加</li> <li>・地域と連携したキャリア教育の推進、新卒者の職場定着促進、外国人生徒の就職支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果につながった取組事例の展開</li> <li>・生活、学習、読書の習慣の確立に向け学校、家庭、地域が一体となった取組の推進</li> <li>・国内での国際交流、英語の実践環境の創出</li> <li>・地域と学校が連携したキャリア教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・技能、思考力・判断力・表現力等の「確かな学力」を育成</li> <li>・変化を前向きに受け止め、社会の一員としての自覚と責任を持ち、未来を創る力を育成</li> </ul>
4 人との絆や自然との関わりの中で伸びゆく豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育アドバイザーの派遣</li> <li>・郷土学習を発表するコンテストの実施</li> <li>・ビブリオバトル(書評合戦)の普及や家庭と地域での読書活動の促進</li> <li>・人権教育カリキュラムの作成、教育的に不利な環境にある子どもの学習支援の進展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な道徳教育の実施に向けた指導方法の支援や郷土学習の促進</li> <li>・発達段階に応じた読書活動の推進</li> <li>・各校の人権教育カリキュラムの実効性を高めるための改善の促進</li> <li>・教育的に不利な環境にある子どもの支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・命を大切にする心や他者への思いやりなどの「豊かな心」を育み、子どもたちが自分のよさを認識し、夢と志を持って可能性に挑戦していくために必要な力を育成</li> <li>・自らの感性や創造性を発揮して、他者との絆を大切にし、未来を創っていく力を育成</li> </ul>
5 健やかに生きていくための身体の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気アップシートによる体力向上のPDCAサイクルの進展や授業の工夫と改善</li> <li>・食育推進委員会の設置、指定選手への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の楽しさを感じる授業改善や運動習慣の定着を図るための情報提供の推進</li> <li>・食育の啓発、ジュニア・少年選手の育成強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「健やかな身体」を育み、子どもたちが自分のよさを認識し、夢と志を持って可能性に挑戦していくために必要な力を育成</li> </ul>
6 自立と社会参画をめざした特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育サポーターによる職場開拓や職業教育の充実による進路希望実現</li> <li>・パーソナルファイルの活用や支援情報の引継の進展、早期発見と支援の促進</li> <li>・県施設で専門性の高い医療・福祉サービスの提供、研修による指導・支援への理解促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適性や希望に応じた進路を保障していくための職場開拓の強化や計画的で組織的なキャリア教育の推進</li> <li>・確実な支援情報の引継など早期から一貫した支援と「CLM(Check List in Mie)と個別の指導計画」の導入促進</li> <li>・診療体制の充実と地域の支援体制の構築等を通じた発達障がい支援体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた学びの場での継続的な指導・支援を通じた、自立と社会参画のために必要な力を育成</li> <li>・障がいのある子どもと障がいのない子どもが授業で共に学ぶことや行事等の交流などを通して、互いに理解し尊重する態度の育成</li> </ul>

教育施策	主な成果	残された課題	今後の取組方向
7 笑顔あふれる安全で安心な教育環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ防止応援サポーター登録による地域でのいじめ防止の促進と機運の高まり</li> <li>いじめ反対を示すピンクシャツ運動</li> <li>SNSを活用した相談の実施、ネットパトロールの実施、カウンセラーの派遣、警察・児童相談所との連携等の進展</li> <li>不登校を生まない取組の普及</li> <li>防災ノート配付、防災研修・被災地交流</li> <li>災害時の子どもの居場所確保の進展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会総がかりでいじめ防止に取り組めるようサポーターと連携した取組の推進</li> <li>専門家や関係機関との連携、SNSを活用した相談の活用</li> <li>不登校児童生徒が増加し、不登校の要因が多様化・複雑化する中、一人ひとりの状況に応じた支援</li> <li>防災教材活用、教職員の防災知識・災害対応力の向上、被災学校の再開支援体制整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめや暴力を許さない心などを育むとともに、いじめや暴力行為の防止やその解決に向けて組織的に対応</li> <li>子どもたちが安心して学べる学校づくりや関係機関との連携等を通じた、不登校児童生徒一人ひとりの状況に応じた支援</li> <li>防災学習を通じた自分の命は自分で守る力の育成や災害時における学校教育の早期復旧のための専門知識や対応能力を備える教職員の育成</li> </ul>
8 地域に関われ信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティ・スクールの導入が増え、地域と連携した学校運営への取組が進展</li> <li>地域活性化に向け特色ある活動が増加</li> <li>教員の資質向上の指標を研修等で周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティ・スクール等の導入拡充</li> <li>学校、家庭、地域の連携促進</li> <li>社会全体で子どもを育てる取組の推進</li> <li>指標を基に教員研修を系統的に実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校、保護者、地域が一体となった教育活動の推進や地域の特色や資源を生かした教育を通じた、地域全体による学びと育ちの支えの推進</li> <li>教職員の指導力や専門性の向上、コンプライアンス意識の確立等を通じた信頼される学校づくり</li> </ul>
9 地域と若者の未来を拓く高等教育機関の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>高等教育コンソーシアムみえの設置による高等教育機関の連携体制の構築</li> <li>大学サテライト拠点を活用した学びと産学官が連携した実証実験の進展</li> <li>奨学金返還助成制度の支援対象の拡大</li> <li>U・Iターンの促進や県内企業の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者の県内定着促進のための県内高等教育機関の魅力向上</li> <li>奨学金返還助成制度の活用促進</li> <li>関係団体の連携による、インターンシップの強化、効果的な県内企業の魅力発信、産業界のニーズに応じた職業訓練の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高等教育機関の魅力向上と学びの選択肢の拡大により、県で学び活躍する若者を増加</li> <li>高等教育機関と地域の連携により、若者に選ばれるしごとの創出や働く場の魅力向上</li> </ul>

教育施策	主な成果	残された課題	今後の取組方向
10 地域の活力を支える産業人材等の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みえ農業版MBA養成塾」や「みえ防災コーディネーター育成講座」などによる各分野における人材育成の進展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Society5.0」など新たな社会の動きに対応した産業人材や、医療・福祉・介護人材など専門的な人材の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変容がもたらす課題に対応し、地域の活力の源泉となる人材の育成・確保</li> </ul>
11 あらゆる世代の全ての人々が学び挑戦できる社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と地域を結ぶコーディネーターの養成等を通じた社会教育の推進</li> <li>・障がい者、高齢者、女性、外国人などの社会参画に向けた学びの取組の進展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人生100年時代」の到来を見据え、地域全体で子どもも大人も学び合う教育の場づくりや、多様化、高度化する県民の生涯学習ニーズへの対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる世代の誰もが生涯を通じて、いつでも、どこでも、くり返し学ぶことができ、学んだことを生かして活躍できるよう、学習基盤の充実を図り、その成果を社会に生かすことができる環境づくりを推進</li> </ul>